【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

【学生部門】

山形県立村山産業高等学校　ビジネス部

『クールヤマガタ、芭蕉が愛した山形の水郷を体験　　山形の水文化と産業を五感で体験』

（観光地域：山形県　月山を中心とした村山地域）

【 日　程 】	１泊２日		
【実施時期】	通年		
【催行人員】	９名（最少催行人員：９名）	【お勧めする旅行者層】	日本の文化と産業に興味関心がある インバウンド観光客にお勧め

【旅行代金】	３０，０００円 （大人１名）	【内　訳】 貸切ジャンボタクシー１０，０００円（２日間）　月山水沢温泉入浴料３００円 舟下り体験２，０４０円　芭蕉、清風歴史資料館見学料２１０円 東根温泉宿泊料１２，０００円　団子３５０円　麩懐石料理３，３００円 月山自然水工場及び寒河江ダム・日本一大噴水見学０円 雑費および保険料１，８００円（９名で積算　一人当たり）

【 企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント 】

　山形県月山、江戸時代俳聖松尾芭蕉が弟子と共におくのほそ道を旅した際、３日間にわたり逗留、有名な句を詠んでいます。その中でも月山登山を行い、その宿坊で詠んだといわれている「雲の峰 いくつ崩れて 月の山」月山の自然と雄大さを詠んだ名句と言われています。また、この度の終着点である大石田より出羽三山に至る道中では、梅雨明け間近の増水した最上川を船で下り「五月雨をあつめて涼し最上川」という句を詠んでいます。

　それから３５０年、現在では環境省選定の名水百選の一つである「西村山郡西川町月山山麓湧水群」として登録され、さらに東北有数のロックフィルダムである寒河江ダムや日本一の高さ１１２Ｍまで噴き上げる噴水、山形市を含む県中心部の水道水の水源ともなっています。１９００年代は石油の時代と言われましたが２０００年代は水資源の時代ともいわれています。山形県の観光を水資源というテーマのもと、産業と文化、クールという三つの視点で見て、味わい、五感で体験してもらいたいという趣旨のツアーとなっています。

　また、このツアーは日本の水ビジネスの紹介という面も持っています。世界のボトルウォーター（ミネラルウォーターを含む）の消費量は年々増加しています。その中でも日本のボトルウォーターの品質や味に対する評価が高く、特にアジア圏で好評を博しています。このツアーではなかなか入ることのできない水のボトリング工場及び地元産１００％の米と水にこだわっている酒造蔵の見学や試飲、更にオリジナルラベルについて商談も可能となっています。観光＋ビジネス、このツアーの大きな特徴の一つです。

・産業＝土木工学　水資源の利活用及び販売
・文化＝温泉入浴（風俗・風習）食（麩を用いたフルコース料理）
・クール＝俳聖、松尾芭蕉体験（衣装など）

【安全確保のための配慮】	【旅行者の満足感を高めるための工夫､快い旅行にするための配慮】
・事前ツアーの実施（生徒と顧問が同じ内容を実際に廻り、計画の実施内容【時間・体験内容・トイレ等】を確認 ・ツアーと同時にバックアップカー（顧問運転）を準備 ・インバウンド対策として事前の風習語学研修等	・解説説明は少なめに、自らの五感で感じ取ってもらうツアー設定 ・インバウンド観光客に向けた対応（①宗教上の禁忌に対応・麩料理を中心とした食事など②入浴時にバスタオル使用） ・水を観光だけではなく産業としても体験できる ・キーワードは松尾芭蕉、水と歴史と産業と文化を体験できます。

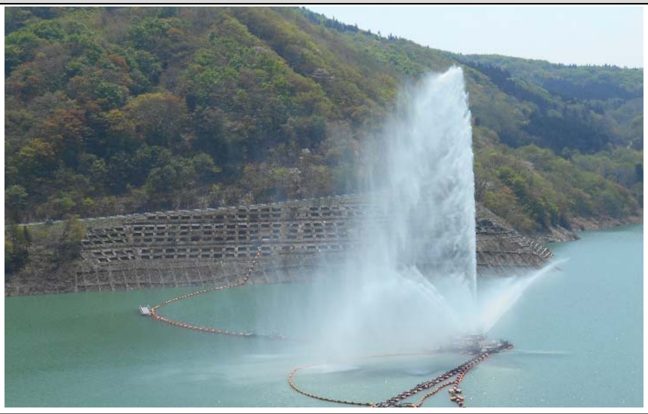
【インバウンド対応のための工夫】

・事前に訪問予定者の出身国の情報を本校所在地に定住されている外国籍の方から事前面接や情報収集を実施（独特の風習確認）
・ビジネス部生徒が中心となってガイド役を実施（英語による説明、また高度な説明や多言語の場合は、翻訳ツールの活用）

【 企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割 】	【 企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割 】
①国土交通省最上川ダム統合管理事務所	ダム及び噴水見学案内	⑤東根市　東根温泉協同組合	宿泊
②西川町総合開発株式会社	自然水工場見学説明 温泉入浴	⑥株式会社　六歌仙	日本酒酒造蔵見学試飲
③東根市創業文久年間　文四郎麩	麩懐石料理提供　　松尾芭蕉使用井戸説明など	⑦村山市　株式会社最上川三難所舟下り	最上川舟下り体験
④東根市ソルテール東根店	和服着用体験	⑧大石田町株式会社最上川千本だんご	だんご・茶会と芭蕉も体験した蔵座敷体験

【特記事項】	すべて事前に生徒が訪問又は体験済み　①～⑧共に企画（予定）但し、①③④⑥についてはＨＰや問い合わせにて見学実施について受入確認済み。
【催行実績】	無

【　行　程　表　】	
１日目	凡例　・→（マイクロバス）　・⇒（徒歩）　・➡（水上移動） おいしい山形空港（9：30）　→→　寒河江ダム及び大噴水見学（10：15～11：30）　→月山自然水工場見学及び道の駅にしかわ・月山銘水館にて入浴体験（11：45～12：45）　→→　東根市文四郎麸による麩懐石料理と地域散策工場見学（13：30～15：30）→→東根温泉（16：00）翌日の行程説明及び足湯体験など（16：15～）
２日目	東根温泉出発（9：30）　⇒⇒　ソルテール東根における和服体験（10：00～10：40）⇒⇒　株式会社六歌仙蔵見学及び試飲（11：00～11：45）　→→　村山市最上川三難所舟下り（12：15～13：15）　➡➡（乗り換え）→→　大石田そば街道において昼食（13：45～14：45）⇒⇒　句会体験及び蔵座敷でのだんご試食（15：00～16：00）→→おいしい山形空港（17：30）解散　（伊丹行き　18：00　羽田行き 19：20）

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】		
【 ポイント１ 】	【 ポイント２ 】	【 ポイント３ 】
		
【コメント】「西川町総合開発株式会社」 名水百選に選ばれた水をそのままボトリングして販売している「月山自然水」工場見学によって日本の水ビジネスを知ってもらうとともに、その味や水に対する日本人の考えを理解してもらいたいと考えています。私たちも見学させていただき、きれいな水をいつでも手に入れられる日本の自然の豊かさを実感しています。インバウンド観光のお土産に、そして山形の水ビジネスの紹介をあわせてどうぞ。	【コメント】「寒河江ダムと大噴水」 １９９０年山形県西川町に山形最大、東北でも指折りのダムが完成しました。それが寒河江ダムです。このダムは多目的ダムと呼ばれまた建設資材をダム湖周辺の山を活用した「中央コア型ロックフィルダム」、その堤高は噴水と同じ１１２m、日本の土木技術の粋を集めたまさに地図に残る仕事です。このダムを見学していただき日本の土木工学のクールな一面を体感していただきたいです。	【コメント】「創業文久年間　文四郎麸　懐石膳」 出典：http://bunshiro-fu.com/?mode=f3 松尾芭蕉がおくのほそ道を旅した目的の一つがこの東根六田で紅花を見ると言われています。芭蕉あこがれの地で、芭蕉がのどを潤した名水を用いて製造した麩懐石料理を堪能いただきます。この料理は１００%植物原料を用いているため、ベジタリアンの方にも宗教の禁忌がある方も安心してお召し上がりいただけるようになっています。夏の紅の花と共にどうぞ。
【 ポイント４ 】	【 ポイント５ 】	【 ポイント６ 】
【コメント】「ソルテール東根店」 この度の終点は芭蕉が最上川を船で下った際の出発点大石田町、芭蕉を旅の案内人に水や川に親しむ旅ですが、ちょっとだけ芭蕉の気分を味わうために「句会」などいかがでしょうか。せっかくの句会、和服に着かえて身も心も芭蕉気分になって体験したい。その夢の実現の為、２日目は着付けを体験します。レンタル代についても現在交渉中、和装体験はサプライズ企画です。	【コメント】「最上川三難所舟下り」 出典：https://www.city.murayama.lg.jp/smph/kanko/kanko_koryu/taiken.html 平安時代に始まった最上川舟運は明治時代まで人・物・そして文化の風を運んでくれる私たちにとって欠かせないものでした。H現在では陸上輸送が主流ですが、人と水との関りを体験していただくとともに芭蕉の名句「五月雨を集めて涼し最上川」が「集めて早し」に改作された理由も味わっていただきたいと考えています。	【コメント】「大石田町株式会社最上川千本だんご」 出典 https://www.ic-net.or.jp/home/tofu83/ 旅のクライマックスは、大石田町にある蔵座敷にての団子パーティーです。おくのほそ道の旅で大石田を訪れた芭蕉も、蔵座敷で連句の会を体験し、その涼しさと心地よさに圧倒されたそうです。またこの団子の多くが地元産の米や農産物で製造されています。最上川の恵みである団子を食べながら水の恵みと文化、そして人工物である堤防への壁画というクールな工夫を体験いただきます。